

横浜行動計画2013-2017

別表テンプレート

I 経済成長の促進

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1)アフリカ全貿易量に占める域内貿易の割合の拡大 (2)アフリカにおけるビジネス環境の改善 (3)アフリカの輸出量の増加					
TICAD Vが支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	広域開発のための域内統合推進、特に貿易に関連したインフラ整備、貿易円滑化、貿易障壁の撤廃、各国政府及び地域経済共同体(RECs)の能力強化を通じた域内・地域間の貿易促進	日本	1.1 貿易投資促進に資するアフリカ行政官人材の育成(1,000人(税関、貿易産業投資促進))。(I 1.1, II 5.1)* 1.2 ワンストップボーダーポスト(OSBP)システム普及及び運用支援を20ヶ国、300人に対して実施。 1.3 NEXIIによる貿易、投資保険引き受け見直し及び20億ドルの保険引受け。(I 1.3, I 2.3)* 1.4 WCOを通じた税関能力向上支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
2	競争の促進及びビジネスコストの軽減(ビジネス環境の改善(含む法制度・財政制度、知的財産の保護に関連する改革))を通じた投資促進。これら改革により観光部門を含む、産業開発の競争力と産業開発に適した環境の向上	日本	2.1 “包括的ビジネス”を含む貿易投資促進策の強化。 2.2 投資協定の締結。 2.3 NEXIIによる貿易保険引き受け見直し及び20億ドルの保険引受け。(I 1.3, I 2.3)* 2.4 NEPAD-OECDアフリカ投資イニシアティブのための継続的な支援。 2.5 知的財産関連のシステム構築及び知財人材・組織開発支援(WIPO拠出金)。 2.6 投資アドバイザーの派遣、10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 2.7 観光従事者の人材育成、700人。(I 2.7, I 7.4)* 2.8 アフリカ観光促進イベントを開催、10回。(I 2.8, I 6.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

3	持続可能な資源開発の促進支援、資金の流れ及び地域社会との関係における透明性及び説明責任の観点から民間セクターの責任ある活動を奨励	日本	3.1 1,000人の資源開発人材育成支援。 3.2 20億ドルのリスクマネー供給。 3.3 投資環境整備のための政策対話。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4	民間セクター開発支援(特に中小企業及び女性企業家の資金アクセスの向上、民間投資を呼ぶ込むための公的資金の活用、地元企業の生産性及び管理能力の向上)	日本	4.1 EPSA/ノンソプリンローン実施等を通じた民間セクター支援、5億ドル。 4.2 JBICによるアフリカ輸銀向けクレジットライン設定、1億ドル。 4.3 TICAD産業人材育成プログラム:TICAD産業人材育成拠点地を10カ所設け、カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国、30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ、1,000人を日本に招聘。(I 4.3, I 7.1, II 8.1)* 4.4 投資ミッション派遣及びセミナーの開催。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5	アフリカ女性のリーダーシップ、管理、起業における能力強化	日本	5.1 日アフリカビジネスウーマン交換プログラムの設置。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
6	アフリカ産品の世界市場へのアクセス促進	日本	6.1 投資アドバイザーの派遣、10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 6.2 アフリカ観光促進イベントを開催、10回。(I 2.8, I 6.2)* 6.3 貿易フェア、セミナー、専門家派遣を通じたローカル輸出産業の支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
7	制度強化のための能力向上支援及び成長加速、開発持続、貧困削減に資する分野における研修強化	日本	7.1 TICAD産業人材育成プログラム:TICAD産業人材育成拠点地を10カ所設け、カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国、30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ、1,000人を日本に招聘。(I 4.3, I 7.1, II 8.1)* 7.2 アフリカ諸国における生産性向上推進機関のネットワーク化。 7.3 投資アドバイザーの派遣、10ヶ国。(I 2.6, I 6.1, I 7.3)* 7.4 観光従事者の人材育成、700人。(I 2.7, I 7.4)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。					
注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。					
注:*再掲					

II インフラ整備・能力強化の促進

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1) インフラ整備に対する投資額の増加 (2) 科学研究及び技術移転の促進 (3) 大学の卒業生数及び技術・職業教育・訓練(TVET)の研修員数の増加					
TICAD Vが支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	都市部及び地方部の双方における基幹インフラ整備(特に経済成長に必要な安価で信頼性の高い持続可能なエネルギーインフラ、水インフラ、広域運輸回廊開発及び情報通信技術)。官民連携(PPPs)などを通じた民間セクターの大型インフラプロジェクトへの関与の促進	日本	1.1 公的資金による支援約6,500億円(65億ドル)実施(ODA中心、一部OOF)。 1.2 低炭素エネルギー供給及びエネルギー活用効率化支援、約2000億円(約20億ドル)。 1.3 成長回廊(回廊を軸とした地域総合開発)整備支援(道路と港湾を含む)、5地域以上。 1.4 戦略的マスタープラン策定、10か所。(II 1.4, IV 4.2)* 1.5 広域電力網整備支援。 1.6 日本方式の地デジ導入等ICTインフラ支援。 1.7 ビジネス・マッチングや情報提供を通じたアフリカのインフラ開発支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
2	持続可能な都市開発への支援	日本	2.1 都市化進展に伴う課題への対応支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
3	特に科学及び工学分野における高等教育の推進	日本	3.1 汎アフリカ大学構想(PAU)、エジプトのE-JUST等を通じた高等教育の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 3.2 国費留学生受け入れ、5年間で800人を対象。(II 3.3, II 7.2, V 1.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

4	雇用に繋がる高度なスキルを提供する技術・職業教育・訓練(TVET)の促進	日本	4.1 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5	必要な能力開発の取組を通じた公共セクターにおける人材育成の促進	日本	5.1 貿易投資促進に資するアフリカ政府人材育成。1,000人(税関職員、産業振興担当者、貿易担当者、投資関連省庁担当者等)。(I 1.1, II 5.1)* 5.2 低炭素・高効率エネルギー分野で200人、運輸交通分野で450人の人材育成実施	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
6	科学技術分野における機関、制度及びすべての関係者とのパートナーシップの構築及び強化	日本	6.1 汎アフリカ大学構想(PAU)、エジプトのE-JUST等を通じた高等教育・研究機関の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 6.2 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)* 6.3 日・アフリカ間の国際共同研究の推進及び日・アフリカ間の研究者及び学術機関間の学術交流の促進。 6.4 科学技術大臣会合も含めた日・アフリカ間の政策対話の開催。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
7	科学・技術・工学・数学(STEM)分野の指導と学習の強化	日本	7.1 以下を通じて新たに2,000万人の子供に対して質の高い教育を提供。(II 7.1, V 1.1) ①理数科教育の拡充支援 ②学校運営改善「みんなの学校」プロジェクトの拡充 ③学力試験改善支援 ④小中学校および教員養成校の建設及び教室整備 7.2 国費留学生受け入れ、5年間で800人を対象。(II 3.3, II 7.2, V 1.2)* 7.3 汎アフリカ大学構想(PAU)、エジプトのE-JUST等を通じた高等教育の拠点支援。(II 3.1, II 6.1, II 7.3)* 7.4 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
8	若者の雇用及び起業に関する革新的プログラムの強化	日本	8.1 TICAD産業人材育成プログラム:TICAD産業人材育成拠点を10カ所設け、カイゼンを含む産業人材育成支援を25ヶ国、30,000人以上を対象に実施。「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」を立ち上げ、1,000人を日本に招聘。(I 4.3, I 7.1, II 8.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。					
注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。					
注:*再掲					

Ⅲ 農業従事者を成長の主人公に

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1) CAADPに掲げられている農業セクターにおける成長率6%の達成 (2) 「アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)」における取組を通じた2008年から2018年までのコメ生産量の倍増					
TICAD V が支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD V の重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	CAADPプロセスに沿い、またCARDを通じた、農業生産の増大及び農業生産性の向上	日本	1.1 後半5年間のCARD戦略の推進(2018年までにサブサハラアフリカの コメ生産を2,800万トンに倍増させる取り組み。国家稲作戦略及び優れた 実例の普及への支援、コメ生産性向上の取組推進、小規模灌漑スキーム を含む灌漑施設の整備・改修、水管理能力の強化及びそれらを推進 するための人材育成及び組織強化等)。 1.2 FAOと連携した国際農業研究協議グループ(CGIAR)を活用した品種 改良等支援及び統計手法の開発支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
2	自給的農業から商業的な農業への移行を促すとともに、域内の流通も含めた“farming as business”(儲かる農業)アプローチを通じ、小農(特に女性)のための市場志向型農業を促進	日本	2.1 小農による市場志向型農業の推進(SHEPアプローチ)の推進(10カ国に展開)。 2.2 SHEPを推進する技術指導者の人材育成(1,000人)。 2.3 SHEPを実践する小規模農家を育成及び農業団体の育成(5万人)。 2.4 専門家の派遣、農業機械化、農業生産、流通、販売技術研修。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

3	被援助国の関係者が広く恩恵を受ける形で民間セクターの関与を促進。小農(特に女性)に十分な配慮を行い、必要なインフラ及び先進的かつ実用的な農業技術(農産物加工、収穫後の貯蔵及び市場へのアクセス改善等)を含めたバリューチェーン整備を促進	日本	3.1 責任ある農業投資原則(PRAI)に沿う農業開発プログラムの促進。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4	気候変動による自然災害の増加に対し、適切な土地保全、水管理や政府及びコミュニティレベルの能力強化による災害に強靱なインフラ開発を含め、農業及びコミュニティの強靱性を強化し、国の食料及び栄養安全保障を確保	日本	4.1 気候変動等に対応するための農業の強靱性強化支援。 4.2 干ばつ等の自然災害に影響を受ける地域(アフリカの角やサヘル等)の強靱化支援。 4.3 気候変動緩和・適応に資するの農業関連技術のアフリカとの共同開発。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5	価格の乱高下及び市場の失敗に対処するリスク緩和のための取組の支援(保険、貯蔵、情報システム、貿易政策等)				
6	農業に従事する女性のエンパワメントのための他の取組に加え、「農業、食料安全保障及び環境」のテーマの下、アフリカの女性によるプロジェクト及びイニシアティブの支援を可能にするアフリカの女性のための基金(Fund for African Women)の財政及び技術的能力を強化				
7	女性及び若年層の雇用創出及び食料安全保障、貧困削減を確保するため、漁業及び養殖業を支援				

注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注: *再掲

別表テンプレート

IV 持続可能かつ強靱な成長の促進

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1) 森林及び土地管理の改善を通じた森林減少の抑制 (2) 気候変動適応プログラムへの投資増加 (3) 再生可能エネルギーへのアクセス向上 (4) 防災研修員数の増加 (5) 国家開発計画に防災を主流化する国の数の増加					
TICAD V が支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD V の重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	環境政策の立案及び環境技術分野における人材育成及び取組の促進	日本	1.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1)* 1.2 「TICAD低炭素成長・気候変動に強靱な戦略」の策定及び戦略に基づく支援 1.3 34か国におけるTREESイニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)* 1.4 低炭素成長の実現のための二国間オフセットクレジット制度の普及促進。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
2	多様な生物の持続可能な利用と土地及び森林資源の管理の促進	日本	2.1 34か国におけるTREESイニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
3	持続可能な土地管理並びに干ばつ対策及び砂漠化対処に関するアフリカの計画への有効的な支援	日本	3.1 34か国におけるTREESイニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4	世界防災閣僚会議in東北で採択された「21世紀型の防災」の下、開発における防災の主流化、総合的な防災対策の推進	日本	4.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1)* 4.2 戦略的マスタープラン策定、10か所。(II 1.4, IV 4.2)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5	特に乾燥及び半乾燥地域における干ばつに対する強靱性の強化や嵐、洪水及び沿岸浸食の防止などの自然災害対策の実施	日本	5.1 海岸浸食対策能力向上支援等の防災支援。 5.2 アフリカ型洪水対策の普及。 5.3 島しょ国を対象とした災害リスク軽減への支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

6	全てのレベルにおける防災に関する人材育成、組織制度、情報システムの開発	日本	6.1 環境気候変動に関する人材育成。(2,000人)(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1)* 6.2 ICTインフラの活用した気象サービス等に情報サービスを利用した災害リスク軽減支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
7	AAP(アフリカ気候変動適応支援プログラム)を含む適応の取組及び気候変動への適応分野への投資に有利な政策環境の促進				
8	水力、太陽光、地熱、バイオマス及び風力発電を含めた再生可能エネルギーへの投資促進	日本	8.1 環境気候変動に関する人材育成(2,000人)。(IV 1.1, IV 4.1, IV 6.1)* 8.2 国際再生可能エネルギー機関(IRENA)を通じた再生可能エネルギー推進支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
9	気象学に関するアフリカの統一戦略(天候及び気候サービス)の支援				
10	REDDプラス(森林の減少及び劣化に由来する排出の削減等)のプロジェクトの推進	日本	10.1 34か国におけるTREESイニシアティブの実施。(IV 1.3, IV 2.1, IV 3.1, IV 10.1)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
11	気候変動適応プログラムを含めた自然リスク及び防災に関するメディア専門家、計画立案者、公務員の訓練				
12	都市型リスク管理プラットフォームの設立				
13	国連プロセスにおけるポスト兵庫行動枠組み(2005年~2015年)の議論への貢献				
14	第20回AUサミットで採択されたりオ+20に関するアフリカの地域プログラムの実施				
15	アフリカの過酷かつ予測不可能な気候状態に対処するための早期警報システムの支援				

注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注: *再掲

別表テンプレート

V 万人が成長の恩恵を受ける社会の構築

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1)特に女子、また地方や遠隔地を考慮した初等及び中等教育の完全普及と職業訓練の増加 (2)脆弱層への公共保健サービスの拡大を通じた医療保障の増加 (3)専門の技能を持つ分娩助産者による分娩の平均割合の増加 (4)リプロダクティブヘルスに関するマプト行動計画に政策を整合するAU加盟国数の増加 (5)2015年までに、AU加盟国において母子保健に関する国民への教育のために報道機関の活用増加 (6)標準体重以下の5歳未満の子どもの削減 (7)新生児含めた5歳未満児、妊産婦及び母親の命を救う (8)国家計画を考慮しつつ家族計画の提供に向けた進捗の確保 (9)HIV/エイズ、結核、マラリアに関連した死亡者数の削減 (10)水供給サービスの範囲及び持続可能性の向上により、安全な飲料水へのアクセスの増加 (11)産前及び産後ケアの更なる促進					
TICAD Vが支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD Vの重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	適切な教育施設の供給、教員の能力向上及び関係者の管理行政能力の改善を通じた、初等及び中等教育並びに職業訓練への衡平性に配慮したアクセス及び質の向上	日本	1.1 以下を通じて新たに2,000万人の子供に対して質の高い教育を提供。 (II 7.1, V 1.1)* ①理数科教育の拡充支援 ②学校運営改善「みんなの学校」プロジェクトの拡充 ③学力試験改善支援 ④小中学校および教員養成校の建設及び教室整備 1.2 国費留学生受け入れ、5年間で800人を対象。(II 3.3, II 7.2, V 1.2)* 1.3 技術・職業訓練分野での支援強化(CFPT等の拠点を通じたアプローチ)。(II 4.1, II 6.2, II 7.4, V 1.3)*	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

2	ナレッジに基づく教育開発と、フォローアップ及び成果測定を適格に行うメカニズムを確保するための教育管理情報システムの強化				
3	母子保健、リプロダクティブヘルス、感染症及び非伝染性疾病に特別に配慮しつつ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを進展させるための保健制度の強化	日本	3.1 500億円の支援実施。 3.2 保健医療人材の育成、12万人を対象。 3.3 ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)実現に向けた保健人材開発、サービス提供体制及び財政基盤の強化。 3.4 MDGの加速的達成を実現するための母子・新生児継続ケア及び栄養改善。 3.5 感染症対策の支援維持(世界基金等に対する拠出と連携プロジェクトの実施、ポリオ根絶に向けた取組、無視された熱帯病(NTD)等への取組)。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4	アフリカ諸国が自国の政策とアフリカ妊産婦死亡削減加速化キャンペーン(CARMMA)及びセクシャル・リプロダクティブヘルス権利に関する行動計画(マプト行動計画)とを整合させるための支援				
5	AUCの保健サービス・医療提供システムの強化				
6	持続可能な水供給を確保するための節水対策の実施を含めた持続可能な水資源管理の促進				
7	都市及び地方双方における安全な水及び衛生状態の持続可能な供給及びアクセスの改善	日本	7.1 給水・衛生改善支援(SHIAWASE AFRICAイニシアティブ)。新たに1,000万人を対象。 7.2 都市水道技術者1,750人の育成。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
8	国家及び地域レベルで水と衛生をフォローアップ及びモニタリングするためのシステムを2016年までに強化				
9	CAADPIにおいて使用されるコンパクト・アプローチに則った水と衛生に関するアフリカビジョン2025の実施				
10	総合的な廃棄物管理の促進	日本	10.1 大都市の廃棄物管理強化支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

注: 具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注: フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注:*再掲

別表テンプレート

VI 平和と安定、民主主義、グッドガバナンスの定着

成果目標		現状(2012年現在)		成果(2017年現在)	
(1) アフリカ平和安全保障アーキテクチャー(APSA)の実施 (2) アフリカ機関の人的・組織的能力を強化するためのAU/NEPADによるRECsの能力向上支援プログラムの実施 (3) テロ対策及び組織犯罪撲滅のための訓練を受けた人員数の増加 (4) APRM枠組みの下でレビュー済みの国々における国家行動プログラムの支援 (5) ジェンダー不平等是正のための女性の経済アクセス拡大に関するプログラムへの支援増加 (6) 若者の雇用機会創出のための中小企業の支援増加					
TICAD V が支援するアフリカの取組		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
TICAD V の重点分野		実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	1.1 平和と安定に関連する取組を効率的に実施するためのアフリカのオーナーシップ及び能力支援 1.2 アフリカ自身の能力向上イニシアティブへの支援を通じたRECsの組織能力開発 1.3 将来の平和維持及び平和構築活動に参画可能な人材に関するデータベースの開発、及び国連やAUのガイダンスと支援を通じたこれらの人材の能力向上	日本	平和と安定に関連する取組を効率的に実施するためのアフリカのオーナーシップ及び能力支援 1.1 PKO訓練センターへの支援等を通じた人材育成、3,000人を対象。 1.2 APSA組織の実行力向上を含め、AU/RECsの平和構築の取組を支援。 1.3 AU/RECsに対する「カイゼン」等を通じた能力向上支援。 1.4 人間の安全保障の普及・実施にかかるAUIによる取組支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
2	2.1 紛争予防、強制的移住の解決、紛争終結後の復興の達成並びにテロ、国際組織犯罪、海賊との闘いに対するアフリカ自身の取組への支援増加	日本	国際社会とともに平和の定着の継続的な支援 2.1 サハラの帯及び大湖地域を重点地域とした平和の定着支援。最初の取組、5.5億ドル。 2.2 アフリカにおける国連PKO活動に対する貢献。 2.3 国連平和構築委員会(PBC)、平和構築基金(PBF)等、国連によるアフリカ平和構築プロセスへの貢献。 2.4 脆弱国における貧困削減、若者の失業対策、女性のエンパワーメント等支援。 2.5 日本市民社会による活動支援、専門家育成。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価

3	3.1 テロ、国際組織犯罪、海賊との闘いに対するアフリカ自身の取組への支援増加	日本	3.1 サヘル地域の安定化支援。1,000億円の開発・人道支援。 3.2 テロ及び国境を越えた問題対策に資する北アフリカ・サヘル地域の能力向上支援。2,000人を対象。 3.3 北アフリカ・サヘル地域のテロ・治安対策関係者との対話協力促進。 3.4 ソマリア沖の海上安全確保支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
4	4.1 政策立案及び実施のための行政官の能力強化支援及び選挙プロセスの促進、サービス提供の改善、治安部門改革におけるアフリカ自身の取組支援 4.2 アフリカにおけるグッドガバナンスの強化、特にAPRMにおいてレビュー済みの国々における国家行動プログラムの実施支援	日本	4.1 APRMを含むグッドガバナンス推進支援。少なくとも30カ国において実施。 4.2 司法、メディア、地方自治等分野での能力向上支援。国及び地方併せて5,000人以上の行政官育成。 4.3 治安維持セクターの能力向上支援。	2013-2017	TICADフォローアップメカニズムによるモニタリング及び評価
5	大陸における平和と安全の維持にかかるAU及びRECsの役割の向上、及びこれら課題における国連との協力推進				

注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会、地域経済共同体、アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。

注:*再掲

VII フォローアップメカニズム

T I C A D Vが支援するアフリカの取組	実施主体	活動／イニシアティブ (要約)	実施期間 (想定)	モニタリング方法
1	共同事務局 日本外務省、アフリカ連合委員会(AUC)、国連アフリカ担当事務総長特別顧問室(UNOSAA)、国連開発計画(UNDP)、世界銀行(WB)			

注:具体的なプロジェクトは開発主体とアフリカのパートナー(アフリカ連合委員会, 地域経済共同体, アフリカ諸国)との間の協議によって選択される。

注:フォローアップメカニズムの下で日本は開発主体によるアクション及び措置の実施状況につき報告し、アフリカ連合委員会がアフリカによるアクション及び措置の実施状況につき報告する。